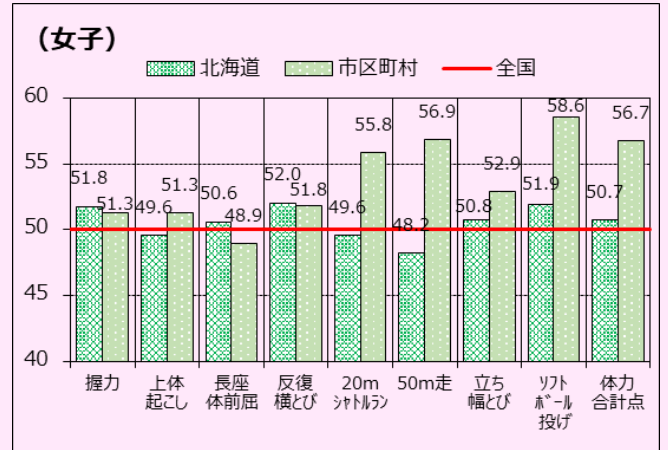
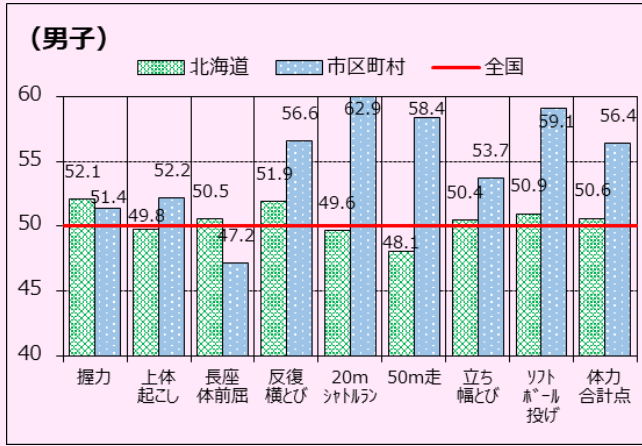


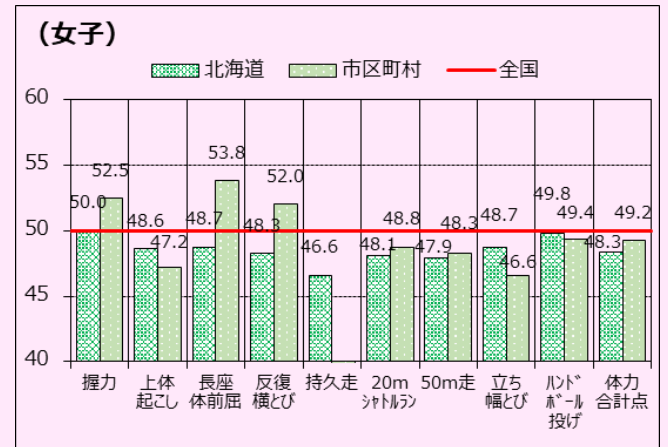
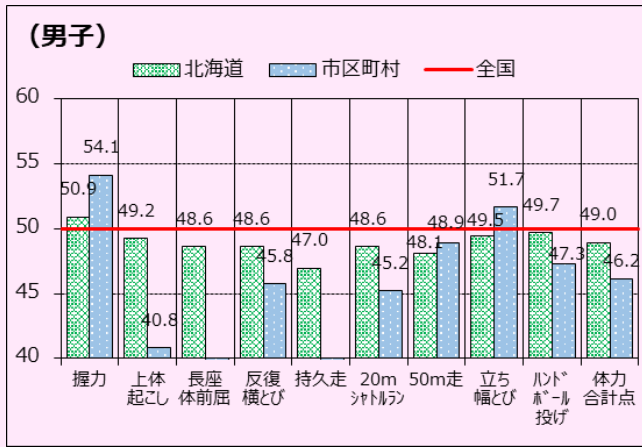
令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査：下川町

実技調査T得点

<下川小学校>

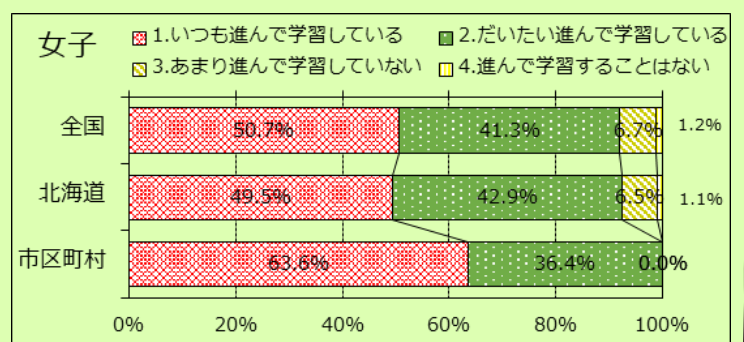
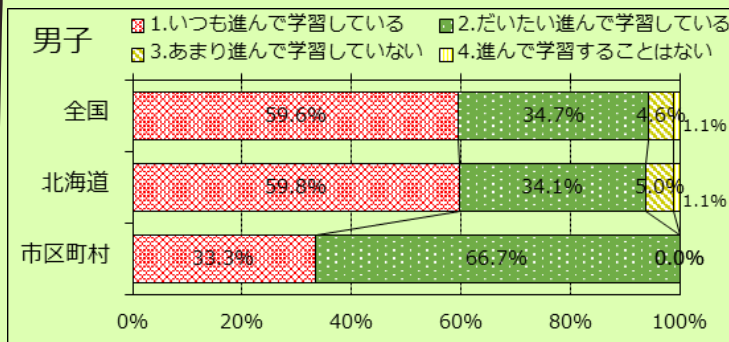


<下川中学校>



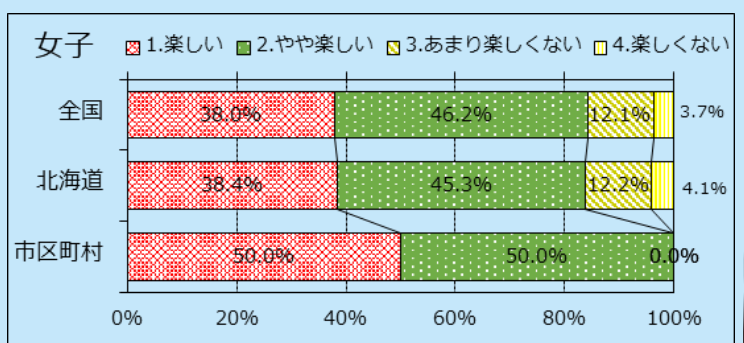
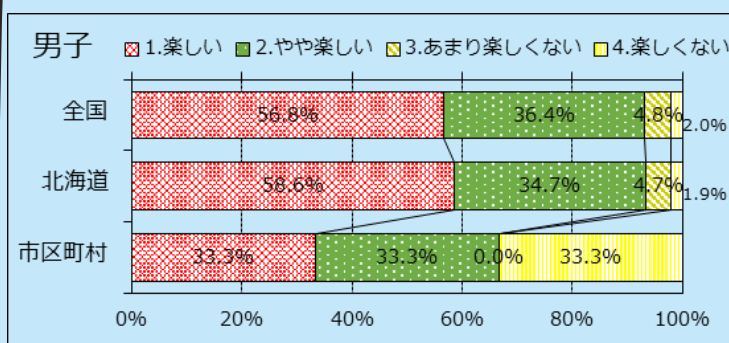
<下川小学校>

・体育の授業では、進んで学習に参加していますか。



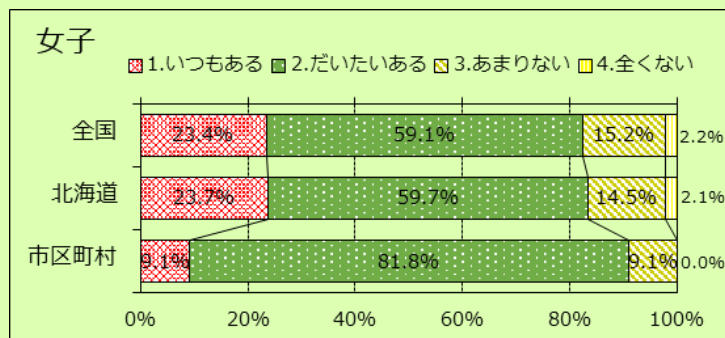
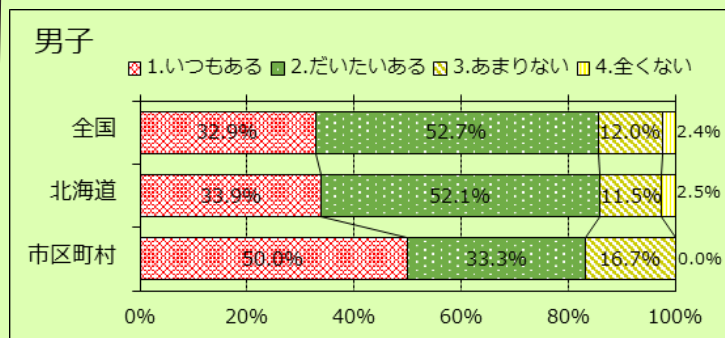
<下川中学校>

・保健体育の授業は楽しいですか。



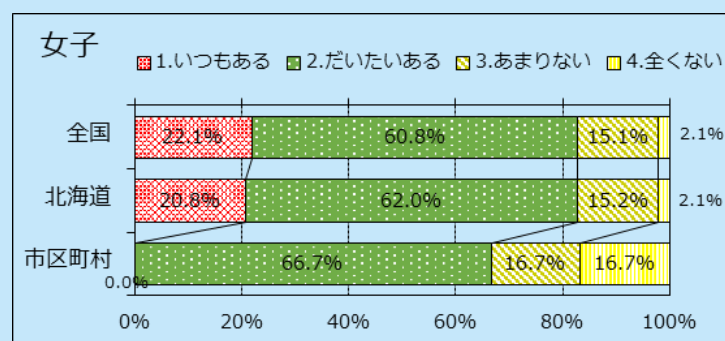
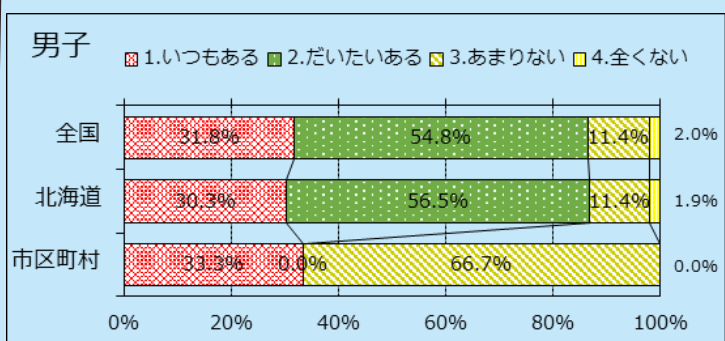
<下川小学校>

・ 体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



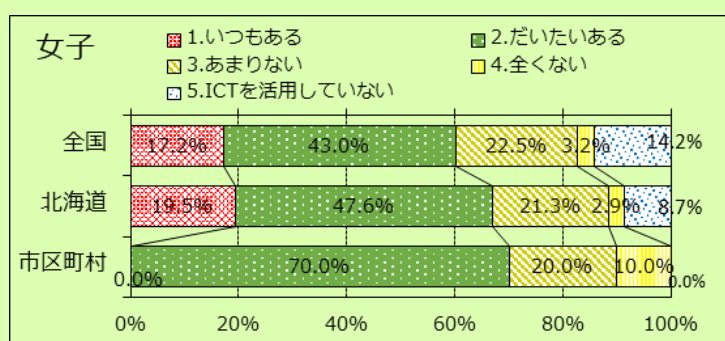
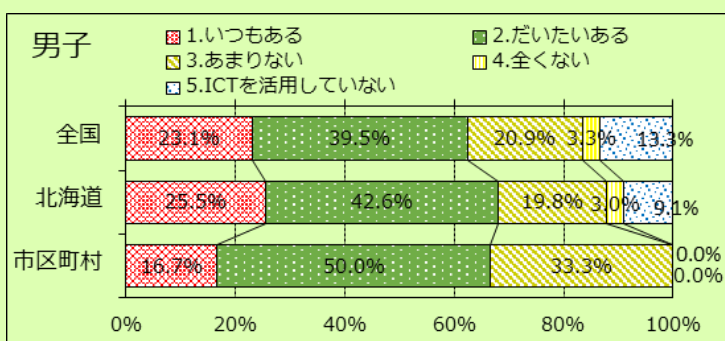
<下川中学校>

・ 保健体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



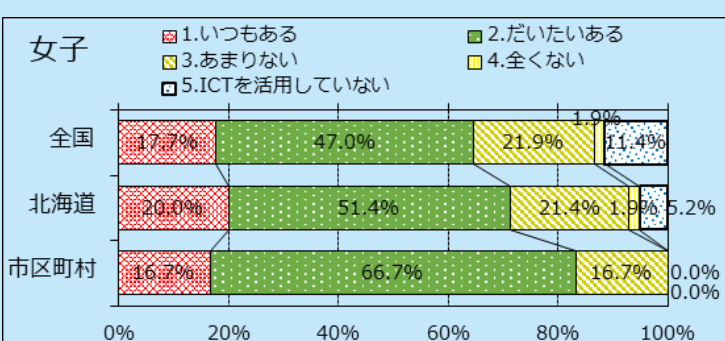
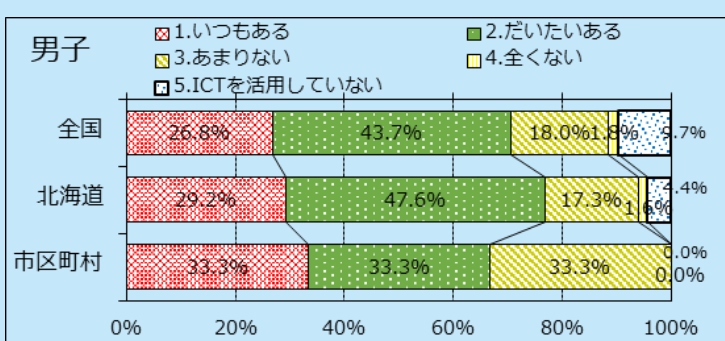
<下川小学校>

・ 体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



<下川中学校>

・ 保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



1 調査結果の分析

(1) 実技調査T得点の状況

- 小学校男女とも、「握力」「上体起こし」「反復横とび」「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」「50m走」「ソフトボール投げ」において、全国を上回り、全体にバランスのとれた体力状況にある。一方、「長座体前屈」のみが、全国を下回る結果となり、柔軟性に課題が見られる。
- 中学校男子は、「握力」「立ち幅跳び」において、全国を上回り、筋力、瞬発力は高い状況にある。一方、「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」において、全国を下回る結果となり、体幹の持久力や柔軟性、敏捷性、全身持久力に課題が見られる。
- 中学校女子は、「握力」「長座体前屈」「反復横とび」において、全国を上回り、筋力、柔軟性、敏捷性は高い状況にある。一方、「上体起こし」「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」「50m走」において、全国を下回る結果となり、体幹の持久力や全身持久力、瞬発力、走力に課題が見られる。

(2) 児童生徒質問調査集計の状況

- 小学校においては、「体育の授業に進んで参加している」「体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、できたりわかったりすることがある」と回答した児童の割合が高い。一方、「体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することや体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、できたりわかったりすることがある」と回答した児童（男子）の割合がやや低い。
- 中学校においては、「保健体育の授業が楽しい」「保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、できたりわかったりすることがある」と回答した生徒（女子）の割合が高い。一方、「保健体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することや体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、できたりわかったりすることがある」と回答した生徒の割合が低い。

2 今後の改善方策

- 体育の準備運動時に、柔軟性や体幹を高める運動等を取り入れ、単元を通して基礎体力の向上を実感できる授業の継続を図る。
- 体育の導入時に目標の意識化、終末時に振り返る活動を効果的に取り入れ、技能の習得にかかわる達成感やできなかったことができるようになる楽しさを体感できる指導方法の工夫を図る。
- タブレットの利活用を図り、児童生徒同士の対話を意図的に取り入れ、友達との連帯感を高める指導方法の工夫を図る。
- 体育館や運動スペースの積極的な活用を呼びかけ、日常的に体を動かす機会や全校で運動に親しむ取組を推進する。